

患者の皆様へ

2022年12月15日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「気道ステント留置の臨床学的有用性」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2008年1月から2022年12月まで当科において気道ステントを挿入した患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「気道ステント留置の臨床学的有用性」

2. 研究の意義・目的 「食道癌・肺癌・その他の病気の合併症として、気道狭窄または気道食道瘻孔が発生することがあります。どちらも早期に介入が必要な致命的な合併症であり、気道ステントの適応になります。ステントの適切な適応判断、予後予測や処置のリスク因子について解析・検討することが目的です。」

3. 研究の方法

当院で上記の気道病変に対してステント留置術を行った患者さんを対象とし、診療録を調査し、臨床病理学的情報（登録番号、年齢、性別、身長、体重、バイタル、既往歴、内服歴、画像検査の画像および結果、処置内容、採血検査、生理学的検査、病歴、治療法、病理組織診断など）、予後を含めた検討を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、収集したデータから氏名、性別、生年月日を削除し、研究用IDを付与して特定の個人が容易に識別できないように加工して取り扱います。研究用IDと

氏名を一致させるための対応表を作成し、当院呼吸器外科臨床研究室にて厳重に保管する。行い、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院呼吸器病態外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院呼吸器外科

医師 稲毛 輝長

043 (222) 7171 内線 5464

